

平成 26 年度 第 2 回岩見沢市地域公共交通活性化協議会 議事録（要旨）

● 日時、出席者等

日時	平成 27 年 3 月 24 日（火） 10:00～11:30
会場	岩見沢市役所 3 階 第 1 会議室
出席委員	21 名（うち代理出席 4 名）
委員随員	4 名
傍聴者	1 名（報道関係者）
事務局	6 名
業務受託者	2 名

● 議事録（要旨）

会議次第	協議内容
<p>(1) 開会</p> <p>(2) 会長あいさつ</p> <p>(3) 議事</p> <p>1) 岩見沢市生活交通ビジョン（案）について</p>	<p>○事務局から資料 1～3 に基づき、岩見沢市が実施したパーソントリップ調査に関する分析と、第 1 回協議会での協議及びパーソントリップ調査の分析等を踏まえた「生活交通ビジョン（案）」の内容について説明を行いました。</p> <p>■「パーソントリップ分析結果及び基本方針の検討」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口密度は、市街地及び幌向地区で高くなっており、将来の人口密度の推計と比較すると、市街地の人口密度の低下が大きくなっています。 ・郊外部で高齢化率が高く、将来的にみると市全域で高齢化率が上昇します。 ・市民の移動状況を見ると、年代が高くなるにつれ、外出率が低くなる傾向がみられます。 ・移動時間帯を見ると、午前 7～8 時台、午後 5～6 時台の移動が多いほか、午後 8 時以降の夜間の移動も見られます。 ・交通手段では、乗用車による移動が約 6 割と多く、年代別では 10 代は自転車の利用が多く、年代が高くなるにつれバスや同乗による乗用車利用が多いほか、目的別では通院でのバ

会議次第	協議内容
	<p>ス利用が3割と多くなっています。</p> <p>■「岩見沢市生活交通ビジョン（案）」について</p> <p>第1回の協議会にて説明した調査・分析の内容とともに、資料2で説明したパーソントリップ調査の分析を加え、（1）コンパクトな都市を形成する新たな公共交通網の構築、（2）地域特性を考慮した効率的で持続可能な公共交通体系の構築、（3）市民生活の質の向上に資するバスサービスの提供、（4）バス交通の利用促進策の展開を基本方針として、「岩見沢市生活交通ビジョン（案）」を作成しました。</p> <p>委員の方から、次のようなご意見がありました。</p> <p>（委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の7月にパーソントリップ調査が実施され、集計では自転車の利用も見られます。冬場は自転車が利用できませんが、今後冬場のトリップ調査は盛り込まれませんか。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今のところ、冬場に把握することは行っておりませんが、冬場にバス利用が増えるといった実態もありますので、具体的な計画を考える際に、冬場のトリップも念頭に置いた事業の検討が必要と考えます。 <p>（委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本方針1は、まちづくりとの連携や都市計画と公共交通をどう形成するかがポイントだと思います。コンパクトな都市形成と郊外部の対応と矛盾するイメージがあるので、文言を「中心市街地の活性化と連携した公共交通網の構築」としてはどうでしょうか。 <p>また、基本方針1の施策内容1)は、基本方針2に移した方が構成が良くなるのではないのでしょうか。</p> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘いただいたことについて最終的な取りまとめの際に再構成し、基本方針をお示ししたいと思います。 <p>（委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬場は、市の除雪は素早い対応ですが、それでもバス運行は遅れる場合があり、定時性の確保が一番のサービス向

会議次第	協議内容
	<p>上かと思えます。</p> <p>また、夜間便については午後7時以降は、市の中心部でも人の流れが減る状況で、バスの利用者も少なくなり、採算の面では難しいという印象を受けます。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬場の除雪については避けて通れない課題と認識しており、公共交通網の再構築の中でも、しっかり念頭に置いて検討していきたいと考えます。 <p>また、夜間便については、調査の中で終発便の要望が高いところがあったので、今後、バス事業者さんとも協議をさせていただきたいと思えます。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本方針2で、利用者が少ない路線の見直しが必要ということですが、廃止や合理化が必要と解釈できます。若い家族と同居していれば何とかありますが、高齢化や高齢者の自動車運転の問題もあり、家から出ないという家庭がどんどん増え、交通機関の見直しがそれを助長することも考えられます。また、交通機関が見直され、暮らしぶらくなって街に引っ越す人が増えることで地域が崩壊することも考えられるので、そのことを十分考慮していただきたいと思えます。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、栗沢と北村で市営バスを運行していますが、現に利用されている方は少ない状況です。一方、住民の皆さんの大切な生活の足でもありますので、現状が良いか、再編が良いか、また新たな交通を導入するのが良いかなど、しっかり協議しながら検討していきたいと考えます。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営バスは、朝1番の便では病院や商店が開いておらず、また次の便に乗ると、帰りの便まで5時間近く間がありますので、もう少し利用しやすいように時間を検討していただきたいと思えます。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 需要に応じた交通の見直しや新たな交通の検討という中で、いろいろ実態を伺いながら、基本方針に沿った形で進めていきたいと考えます。

会議次第	協議内容
<p>2) 平成 27 年度事業計画 (案) について</p>	<p>⇒基本方針 1 について事務局で再度検討することで、「岩見沢市生活交通ビジョン (案)」について承認されました。</p> <p>○事務局から資料 4 に基づき、地域公共交通網形成計画の検討に向けた業務委託や協議会の開催などの事業計画について説明しました。</p> <p>委員の方から、次のようなご意見がありました。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のスクールバスは台数があるものの朝夕しか動いていないので、利用のあまりないところでコミュニティバスなどに利用すれば、バスを買うコストが抑えられます。法律の壁はあると思いますが、人員もバスもあり、そうお金がかからず運行できると思いますので、検討してはいかがでしょうか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今現在、北村でスクールバスの混乗を行っております。それをしっかり検証した上で、必要性も含め今後のあり方を検討していきたいと思います。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな公共交通とは、どういうものをイメージしていますか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時定路線で需要があまり見込めない郊外部などでのデマンド型交通をイメージしています。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほどお話しがあったスクールバスの混乗やコミュニティバスも新たな公共交通に入ってくると思いますので、そのことも踏まえ柔軟に対応していけばよいと思います。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの実態としましては、まずは子どもたちの学校教育活動で活用することが前提ではありますが、空き状況なども踏まえまして、実際出来るか出来ないか検証していきたいと思います。 <p>⇒平成 27 年度事業計画について、(案) のとおり承認されました。</p>

会議次第	協議内容
<p>3) 平成 27 年度予算（案）について</p>	<p>○事務局から資料 5 に基づき、平成 27 年度予算の収入及び支出見込みについて説明しました。</p> <p>委員の方から、質問・意見はありませんでした。 ⇒平成 27 年度予算について、(案) のとおり承認されました。</p>
<p>4) 平成 27 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通調査事業）の交付申請について</p>	<p>○事務局から資料 6 に基づき、国庫補助メニューである地域公共交通確保維持改善事業の交付申請内容について、説明を行いました。</p> <p>委員の方から、次のようなご意見がありました。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほど生活交通ビジョンの協議の中で、中心市街地の活性化を押し出した方が良いというお話しをしましたが、国はコンパクトなまちづくりということを行っています。交付申請にあたってはコンパクトなまちづくりを押し出した方が良いでしょう。また、5 ページの地域公共交通網形成計画の検討の中で、もっとまちづくりとの連携を押し出した方が良いか、関係の部署と打合せした方が良いでしょう。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画の策定を目指す中では、コンパクトなまちづくりというのは必要だと思いますが、運輸局と打合せされた方が良いでしょう。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に運輸局とやりとりをしていますので、改めて今お話しがあったことについて確認して対応したいと考えておりますが、今ここに書いてある方向性が良いという場合、生活交通ビジョンの基本方針についてどうすべきかという課題がありますので、運輸局との調整後に検討させていただきたいと思います。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コンパクトな都市」を入れなければならない場合、「コンパクトな都市」と「中心市街地の活性化」を併記すればよいと思います。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考にさせていただきたいと思います。

会議次第	協議内容
(4) その他	<p>⇒一部文章について事務局で再度検討することで、平成 27 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通調査事業）の交付申請について、(案) のとおり承認されました。</p> <p>○事務局から、協議会の情報公開について、市ホームページで、協議会にかかる規約や名簿、協議会の開催結果等について掲載することを説明しました。</p> <p>委員の方から、次のようなご意見がありました。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会でのアンケートなどについて、こんなに分析されているとは思っておらず、前回の協議会の時から良いなあと思っていましたが、ホームページにも掲載しているとのことでありました。しかし、ホームページを見る方がどのくらいいるか、また高齢の方がどのくらい見るのかと感じます。また、利用者としてはバスは絶対に必要なもので、残して欲しいと思います。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにすれば、市民の方により分かりやすく周知出来るか、広く見ていただけるか、検討していきたいと思います。 <p>⇒市ホームページの掲載について、承認をいただきました。</p> <p>○その他として、委員の方から、次のようなご意見がありました。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの市内線は全路線赤字ということではありますが、市として路線バスへの補助についてどのようにお考えでしょうか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の路線バスへの補助額は、平成 21 年度の 3 百数十万円から、平成 26 年度は他市町との協調補助や市内線の補助も含めて 2,600 万円ほどに増えています。今後のあり方として、協議会でいろいろ意見をいただく中で、新たな補助制度やその必要性も含めて検討しなければならないですし、バス路線

会議次第	協議内容
(5) 閉会	<p>の維持については、市内横断的な議論もしていきたいと思 います。市の中長期の財政計画を踏まえ、厳しい財政状況であ ることから、どこまで補助金として確保できるのか、今後検 討していきたいと思 います。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスやハイヤー、市営バスも含めて、交通事業者が安定 して経営していかないと、今の議論も空論となってしまいま す。市では指定管理者制度でいろいろな事業を委託していま すが、交通事業者ができる仕事があれば検討していただき、 交通事業者が成り立つような街にしていきたいと思 います。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者さんの経営が非常に厳しいというお話もあり、行 政としても人が減る中、財政状況も厳しいというお話があり ました。その中でも、どういう形で地域の足を確保してい くかは大きな課題であり、それらも含めて協議会の中で委員の 皆さんの知恵をいただきながら、市民の皆さんが安心して暮 らせるような公共交通の基盤確保を考えていきたいと思 います。